



かねてより親交の深いGLAY・TERUさんを迎えてのトークイベントを開催します。同じアーティストとしての視点で、作品についてのトークをお楽しみに！

日時／2025年11月22日(土)

14:00～15:00

会場／アートコアミュージアム2

料金／無料(要展覧会観覧券)

定員／200名(事前申込制・全席自由)

※応募多数の場合は抽選

申込・詳細／本展Webサイト内申込フォームよりお申し込みください。

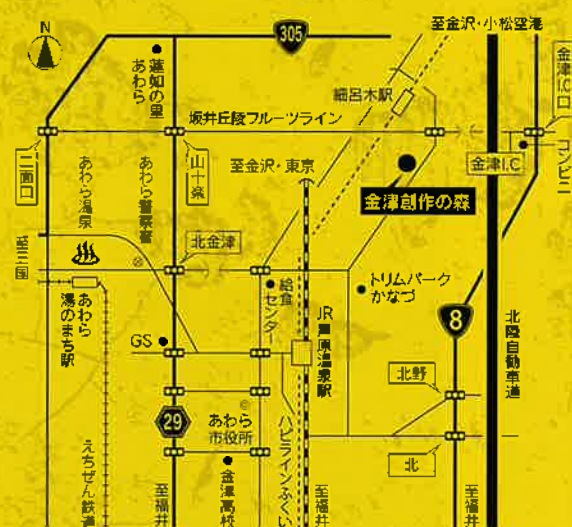
※10月22日(水) 10:00より申込開始

※応募者が一定数に達した時点で受付を終了します。



本展Webサイト

ACCESS MAP



〒919-0806

福井県あわら市宮谷57-2-19

TEL.0776-73-7800

<https://sosaku.jp/>



ACCESS

電車－北陸新幹線 / ハピラインふくい

芦原温泉駅から車で約10分

車－北陸自動車道金津ICから車で約5分

飛行機－小松空港から車で約30分



あわら市内を600円で移動できる「あわらぐるっとタクシー」もどうぞ！

ぐるっとタクシーはこちら

主催／(公財)金津創作の森財団

共催／あわら市、あわら市教育委員会

後援／福井県、(公財)福井県文化振興事業団、福井新聞社、北國新聞社、北日本新聞社

FBC、福井テレビ、MRO北陸放送、FM福井、福井ケーブルテレビ・さかいケーブルテレビ

(一社)あわら市観光協会、月刊URALA編集室

特別協賛／セーレン株式会社

協賛／日華化学株式会社、REIHOKU、株式会社アルソア慧央グループ

株式会社福井銀行、株式会社天晴データネット

株式会社エス・ワイ・エス、コマネー株式会社、足羽川リトアート asunowa

株式会社タマヤ、日置電機株式会社

©MAGO CREATION



(The star boy)

美術は人を救うためにある。



(真実の潮 Can you hear me?)

凱旋個展

長坂真護展

still a BLACK STAR

supported by セーレン

2025 10.18 SAT - 12.14 SUN

金津創作の森美術館 アートコア、野外美術館

開館時間／10:00～17:00 (最終入場16:30)

休館日／月曜日(祝日の場合開館、翌平日休館)

観覧料／一般 300円(200円)、65歳以上・障がい者150円、高校生以下無料

()内は20人以上の団体料金、障がい者の介護者(当該障がい者1人につき1人) 無料

※観覧料の一部は、カーナでの支援活動に活用されます。

夢で世界を変えていく

セーレン

<https://www.seiren.com>



北陸では初開催となる“美術館での個展”・長坂真護展。絵画から立体作品まで金津創作の森の自然環境を活かしたこれまでにないスケールで、長坂真護氏の創作活動の軌跡を感じる貴重な機会です。「美術は人を救うためにある」という、世界平和への強い意志で世界規模で取り組む長坂氏の活動を支援するため、美術館においては上野の森美術館に次ぐ作品販売に挑戦します。今展覧会を通して、これからのアートの役割や可能性を伝え、サステナブルな文化を作り上げていきます。

「サステナブル・キャピタリズム」が 目指す世界平和への道は、 たった一人の情熱から始まった。

私たちが日々使用している身の回りの電化製品や衣服は、使い終わった後にどこにいくのだろう、と考えたことはありませんか？ 資本主義が追い求めた成長の陰に、1日10時間以上それらを燃やし続け5ドルほどの収入を得るしかない場所があります。アフリカ・ガーナのスラム街「アグボグブロシー」には、世界の電化製品や衣服が棄てられている現実があります。その現実を目を背けず、廃棄物を使いアートにし、その売上げでスラム街をサステナブルタウンへ変貌させると活動を始めた、福井市出身の美術家・長坂真護。この活動に非常に多くの人が賛同し、リサイクル工場や農業、EV、サッカーチームなど、スラム街は確実に変わり始めています。彼が唱える“循環する資本主義”「サステナブル・キャピタリズム」は、アートという分野から世界平和を目指す彼の情熱から生まれたもの。その情熱を是非体感してください。



(写真上、写真左上) 作品の売上げでリサイクル工場、農業、養鶏場、EVバスなどの事業を展開しており、ガーナにて産業を着実に発展させている。また現地の若手アーティスト「BONBO STARS」の育成にも力を入れている

今回の個展では金津創作の森の自然を活かした屋外展示も行う。「E-waste tree」や「Moon tower」など、アグボグブロシーで生まれた作品も制作予定



〈真実の海〉

still a BLACK STAR

長坂真護 (ながさかまご)

Profile

1984年福井県生まれ。2017年にガーナのスラム街・アグボグブロシーを訪れ、先進国が捨てた電子機器を燃やすことで生計を立てる人々と出会う。以降、廃棄物で作品を制作し、その売上げから生まれた資金で現地にリサイクル工場建設を進める他、環境を汚染しない農業やEVなどの事業を展開。経済・文化・環境(社会貢献)の3軸が好循環する新しい資本主義の仕組み「サステナブル・キャピタリズム」を提唱し、スラム街をサステナブルタウンへ変貌させるため、日々精力的に活動をしている。また、ガーナにMAGO MOTORS LTDを設立し、現在119名が働いている。(2025年8月時点)。2022年には、東京・上野の森美術館で自身初となる美術館個展を開催。第51回ベストドレッサー賞(学術・文化部門)を受賞。2025年の「大阪・関西万博」では、廃ペットボトルを再利用した作品「ミドルクラゲ “海月 (うみつき)”」を展示。



〈月への集い〉



(写真上) Moon tower
(写真下) E-waste tree

